

2019 年度第 1 回教育課程編成委員会議事録(ホテル科・ブライダル科・デュアル科)

日 時	場 所	進 行	記 録
2019 年 10 月 9 日(水)	1 号館 8 階 会議室	澤田	塚本
出席者	企業側(4 名)敬称略・順不同		
	企業名・団体名	名前	学科
	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	飛田 和子	ホテル・ブライダル・デュアル
	株式会社オータパブリケーションズ	山下 裕乃	ホテル・ブライダル・デュアル
	シティパークアンドサービス株式会社	加藤 哲也	ホテル・ブライダル・デュアル
	ホテルニューオータニ幕張	風間 昭彦	ホテル・ブライダル・デュアル
議 事 録	学校側(4 名) 矢口、澤田、小園、塚本		
	澤田より分科会を開会。		
	校長挨拶(矢口) 今回は、他科と同日での調整が難しく、10 月になっての開催。		
	国の動きとして、「専門職大学」として現在 15 校の申請がある。 また、今年度「高等教育の修学支援制度」の申請を行い、本校含め 6 割の学校が対象となった。 経済的理由によって就職しか選択肢がなかった学生が、進学できるように給付型奨学金と入学金・授業料減免を 2 本柱とした施策である。		
	1. 2018 年度教育課程編成委員会の振り返り/2019 年度 教育課程について		
	澤田 : ホテル科では、ブライダル科と比べると身だしなみ(ヘアメイク)の授業がなく、以前までは特別授業(男性 4 コマ、女性 8 コマ)として行っていたが、今年度よりレギュラー化。 JMA(日本メイクアップ技術検定協会)より講師を招いて、15 コマの授業を導入。 男女で分かれての授業運営で、男子に関しては、髪型だけでなく眉のお手入れやネクタイの結び方、靴の手入れ法も含めた指導をさせていただいている。セルフメイク検定では 45 名中 44 名合格、10/7 就職ガイダンスでもピンを使わずヘアセットができており、成果が見られている状況。		
	前回國府様(シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル)より、留学生が 300 名近く同じ学校にいれば、交流を持たれてはというご意見をいただき、今年度より、全学科共通科目として『国際交流』という授業を導入。グループワーク・プレゼンテーションが中心の授業で、日本の良さを伝えられるような授業展開で行っている。また、「キャリアプランニング」=人生プランというお話をいただき、5 月に 2 日間の講演を受けてきた。今回 10/7 就職ガイダンスでも講演いただいた。		
	前回山下様より、スマホを使用しての授業運営をというご意見をいただいたが、まだまだ指導する立場である職員・講師陣が使いこなせていない現状もあり、またホテルの現場ではメモをとることが大切で習慣になっていることもあり、“書かなくなる”ことの怖さがある。		
	加藤氏 : 現在、ホテルカーやハイヤーで送迎の際ホテル側はモバイルをゲストに渡している。またドアマン、コンシェルジュもスマホやタブレットで道案内等ゲスト対応をしている。 ラグジュアリーホテルでは当たり前となっている。		
	小園 : 小学校でも iPad 使用の授業があるので、触れることは大切だと感じる。		
	飛田氏 : きれいな字が書けなくなっている。モバイルや PC と併せて、両方をうまく使いこなしていかなければいけない時代である。		
	山下氏 : 封筒の住所の書き方、文字の大きさも理解できていない現状も見受けられる。		

塚本 : ブライダル科では、新規授業として WP コース/BS コースともに昨年国家検定になった BC (ブライダルコーディネーター) 技能検定 3 級が、今回より 1 年生から受検できることになり 1 年次対策授業として年間 30 コマを導入。1 年次で 3 級を合格した学生が 2 年次に 2 級にチャレンジするシステムがまだ不十分である。学生全員のモチベーションを保つのがとても難しい。
また、海外旅行への準備・知識習得のため、「旅行市場研究」という授業も導入した。

小園 : 就職活動においては、履歴書も手書きからデータ化に変化してきている。
Web 入力エントリーも増えてきており、特にブライダル業界は 9 割近い。
学校内での企業説明会を行っており、仕事の選択肢を持たせることを重視、多様化に対応していかなければならない。ブライダル科では、1 年後期にインターンシップに行く学生が多く、公欠扱いとなるため、授業との兼ね合いが難しい。

澤田 : 早期化が進んでおり、ホテル科では海外研修を 2 月→12 月に、面接講義も半数以上が受けた。
興味がないもしくは必要ないと感じている学生に、興味を持たせることがなかなか難しい。

加藤氏 : キャリア教育の重要性はとて高いと感じている。

2. 2020 年オリンピックに向けて

澤田 : 在校生にできるボランティア活動を探している。
オリンピックに近いところで「都市ボランティア」活動や、卒業研究という授業で、前期は PC 操作や画像の取り込み、パワポの使い方などを習得するため、その中で千葉の良さを伝える内容を次年度は取り入れることを検討。

矢口 : 旅行鉄道関連では、バス・ホテルは既にオーバーブックの状況で、ドライバー含め人手不足否めない。
航空関係では無人化が進んでおり、貨物系は人手不足の現状あり。留学生の採用を検討している。

風間氏 : お客様のご要望は多様化しており、人手不足が深刻である。
新卒中途枠幅を広げているものの、長続きしない現状もあり、不安材料となっている。
オリンピックでは、テコンドー・フェンシング・レスリングの関係者の宿泊受け入れで、海外から協会関係者の視察があり、施設面スタッフ面で厳しいご指摘をいただいている。

澤田 : 2020 年実習生の受け入れと、指導すべき点があるか。

風間氏 : 例年通り受け入れに問題はない。
警備が厳しくなるため、ID 管理・受け答えについてはしっかりしてもらいたい。
現在、料飲のみの受け入れとなっているが、今後宿泊での研修生の受け入れもしていきたいと考えている。交通機関の混乱が予想されるため、可能なら近距離の学生アサインがありがたい。

山下氏 : 2020 年 7・8 月は、どの現場でも結婚式もウェディングフェアの開催もできない状況にある。
時期的にオフシーズンではあるものの、売上減は否めない。また、この時期スタッフをどのように活かすのかが課題。また、結婚式を挙げない“なし婚”が増えているが、年収 600 万円以上など富裕層をターゲットにした具体的な提案や、プランニングができる人材の育成も求められている。
八芳園ではインド人 3 千人規模でのウェディングの問い合わせがあり、海外を視野に入れたスケールを広げられる授業展開も良いのではないかと。好きなこと、得意なことを極める『オタク人間=オタクキラキラ』を作ること、個性ある人材が求められているので、興味あることを追求し、伸ばしていけるカリキュラムがあっても良いのではないかと。

飛田氏 : 2020 年 7・8 月は結婚式を行わない企業が多いが、状況がつかめていない企業もある中、いち早く情報をキャッチして対応、ご提案することが必要だと感じている。
また、BC 技能検定 2 級については、実技の試験もあるため、現場経験のない学生では現実的に厳しいと思う。

加藤氏 : 現在 5 年連続増収増益で好調である。
グループでは日本初スカイバスやスカイホップバス(乗り降り自由)が大人気である。
ホテル業界では人手不足が否めず、ファイブスター系ホテルからのオファーが殺到している。

我社はホテルマンの年収アップに繋がる様、高品質高価格戦略で利益率を重視し、有給取得も含めて環境と待遇改善を最も大事なテーマとして取り組んでいる。また現場職からハイヤー等のセールスに転身するキャリアアップの実績もあり、離職率がとても少ない原因ではないかと分析している。

飛田氏：ある千葉のホテルでは、どの職種に適しているのか、自分にあっているのかを見極めるために部署異動を多く行っている。そのため、学生として好き嫌いなく幅広い知識を学び、習得させることが良いのではないか。

風間氏：入社1年目の新入社員は、各部署ローテーションで経験させている。
ウェディングプランナーに関しては、できれば固定したい思いがある。

3. 次年度に向けて

飛田氏：和装への人気が集まってきているので、和装を実技だけでなく知識も学んで身につけてほしい。

風間氏：検定試験に関しては、サービス介助士など他校よりも意識が高く、資格を持っている印象がある。
検定を取得して、ホルダーにすることなく、現場で生かし武器となるようなアフター講座などがあるとより良いのではないか。

矢口：今後、各科の授業や、卒業研究・成果発表を聴講いただくことも検討していきたい。

進行澤田により閉会。

次回:2020年2月21日(金)予定